

IoT・AIとネットワーク ⑤

国際社会経済研究所(NECグループ)主任研究員

松永 続行



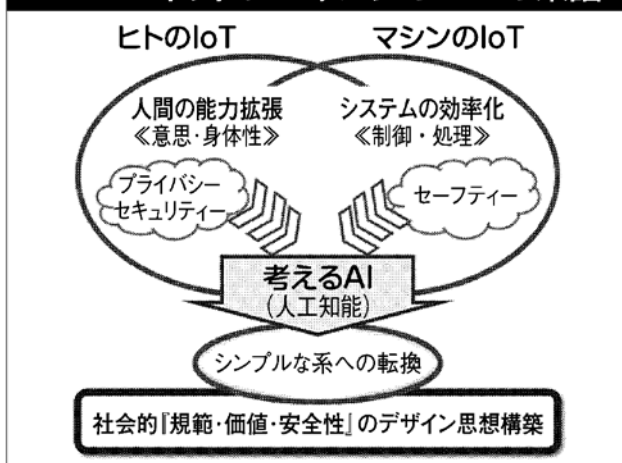
ヒトのIoT

IoT(モノのインターネット)は、インターネットから始まるデジタル情報技術の急速な進展の節目の中で生まれきた拡張的概念であるが、二つの系譜がある。一つは、スマートフォンのような個人が直接使用する「ヒトのIoT」と、もう一つは、「マシン

のIoT」である。IoT(モノのインターネット)は、インターネットから始まるデジタル情報技術の急速な進展の節目の中で生まれきた拡張的概念であるが、二つの系譜がある。一つは、スマートフォンのような個人が直接使用する「ヒトのIoT」と、もう一つは、「マシンのIoT」である。IoT(モノのインターネット)は、インターネットから始まるデジタル情報技術の急速な進展の節目の中で生まれきた拡張的概念であるが、二つの系譜がある。一つは、スマートフォンのような個人が直接使用する「ヒトのIoT」と、もう一つは、「マシンのIoT」である。

新しいデザイン思想構築

IoT・AI ネットワーキングの二つの系譜



「ヒトのIoT」は、人間の能力拡張(意思・身体性)を格段に高めることにより、革動的な産業競争力を創出することを目的としている。この「ヒトのIoT」は、外側にある「ヒトのIoT」の領域に広がりながら進展している。そして、工場のマシンが外部とつながり、あるいは、自動車や飛行ロボット(ドローン)のよう

「ヒトのIoT」と「マシンのIoT」が双方方向につながりながら発達し、どちらも人工知能(AI)新しいデザイン思想の構築が求められる。医師や弁護士のような

(金曜日掲載)